



## みんなの 男女のコーナー 目指せ！男女共同参画社会（第6回）



初めからあきらめずに  
とにかくやってみる！！

末吉町二之方  
(株) 今村建設 代表取締役

かん だ ぼし かず よ  
神田橋 和代 さん

神田橋さんは、株式会社今村建設の2代目社長です。普段は工事現場の監督業や事務業を行い、忙しいときは現場作業員としても働いています。建設業の傍ら菌床しいたけの生産販売も行い「ソオマッシュ」の名称で市内や都市にあるスーパーマーケットなどの地産地消コーナーで販売しています。明るくさわやかな笑顔が印象的な彼女のこれまでの体験談を聞き、その言葉の端々に感じられる優しさに心打たれました。

(参考)

統計(平成24年鹿児島県統計年鑑)では、曾於市の15歳以上就業者数18767人のうち建設業の従事者数は、男性1356人、女性192人。女性の割合は12.13%の業界で、さらに女性が経営者という会社は数える程度です。

このコーナーは、曾於市に住む鹿児島県男女共同参画地域推進員が、曾於市のいろいろな方にインタビューするコーナーです。

以前から会社を継ごうと決めていたのですか

親の勧めがあつたかどうかは覚えていませんが、高校は工業高校の土木科で女子は私が一人でした。卒業してすぐ父の会社に入社し、初めのうちは作業員の方を送迎するのが仕事でした。そのうち役場に提出する書類作成や工事現場の写真整理などの事務仕事が多くなり、会社の事務もするようになりました。父が引退する5年位前から会社を任されるようになり、平成20年、私が46歳の時、正式に社長になりました。自分なりにこれが私の運命かなと受け入れています。

しいたけ生産を始めたきっかけは

建設業の景気が良かった時代もあったのかもしれませんが、私にとっては試練の連続でした。会社は主に道路や下水道工事などの公共工事を請け負っています。仕事の無い時期もあります。その時期に何かできないかと考え、しいたけの生産販売を始めました。でも、利益を

出すのは難しいですね。従業員に毎月仕事があつて、給料の支払いが終わるとほっとします。良かったと思うことは

現場でもどこでも従業員や同業者の方に助けてもらい本当にありがたいです。仕事に追われますが、住民の方から「道路がきれいになって良かった。ありがとう」と電話をもらった時には、疲れや嫌なことも全て吹き飛びます。

最後に「今、この厳しい情勢で建設会社もどんどん減少していますが、災害や地震の時など誰かの役に立てる、社会にとつても必要な仕事だと思っています」と話し、仕事への真剣な表情を見せてくれました。

(取材 県男女共同参画地域推進員島子正一郎 末永順子 馬場雅子)

お問い合わせ先

企画課 男女共同参画係

☎0986-76-8802